

平成 24 年度茨城県中小企業 IT 活用に関する実態調査結果 (概要)

◆調査時点：平成 25 年 1 月 1 日

◆調査方法：郵送によるアンケート調査

◆調査対象：県内中小企業 3, 0 0 0 社

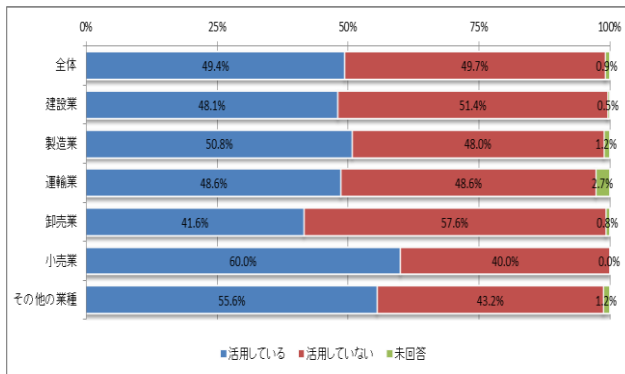
◆回答状況：7 4 7 社 (回答率 24.9%)

1 受発注業務におけるインターネットの活用状況

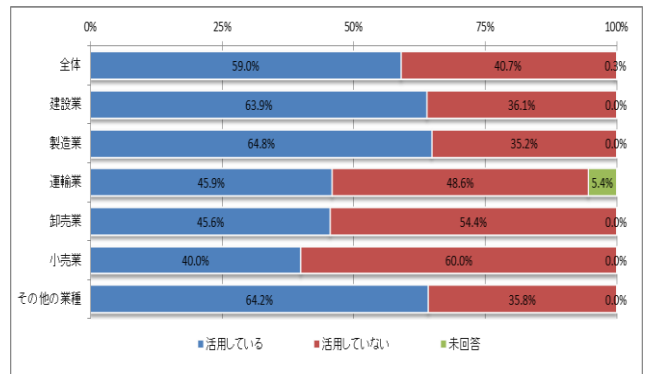
受発注業務にインターネットを利用している企業は発注業務 49.4%，受注業務 59.0% となり，利用媒体としては「発注業務」「受注業務」とも「電子メール（発注 61.5%，受注 55.6%）」が最も多く，次いで「取引先のシステム（発注 46.1%，受注 48.5%）」であった。

受発注業務におけるインターネットを通じた取引額の割合は，「5%未満」が発注 40.4%，受注 28.1% であったが，「30%以上」とする企業も発注 21.7%，受注 32.4% となった。

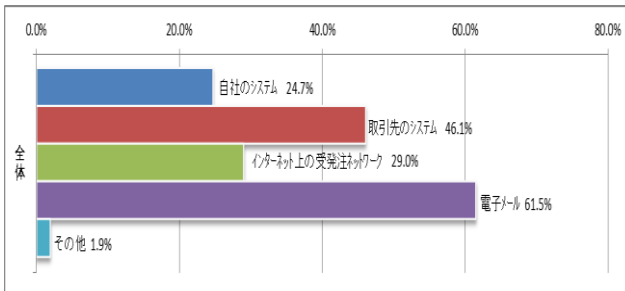
課題については，「管理する人材がいらない（少ない）（発注 17.9%，受注 25.7%）」が最も多く，次いで「セキュリティ上の不安がある（発注 17.7%，受注 19.8%）」であった。



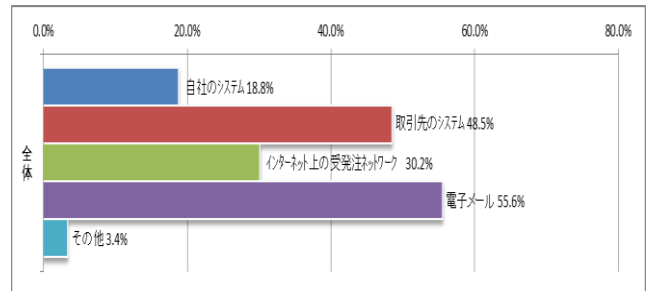
(活用状況：発注)



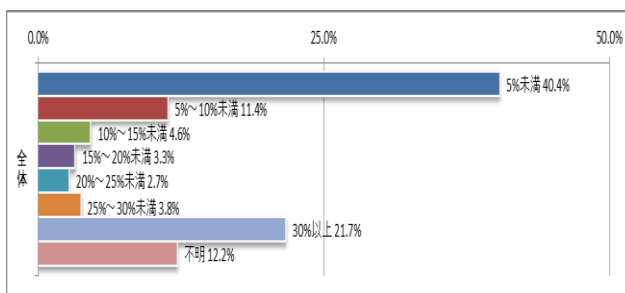
(活用状況：受注)



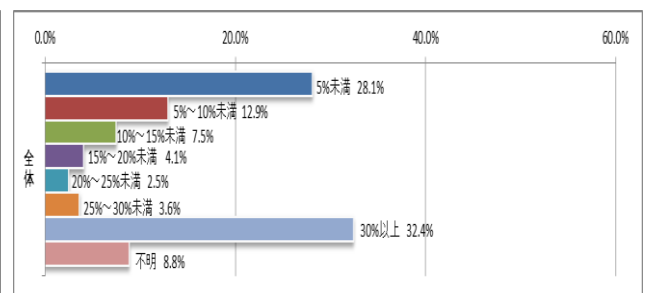
(利用媒体：発注)



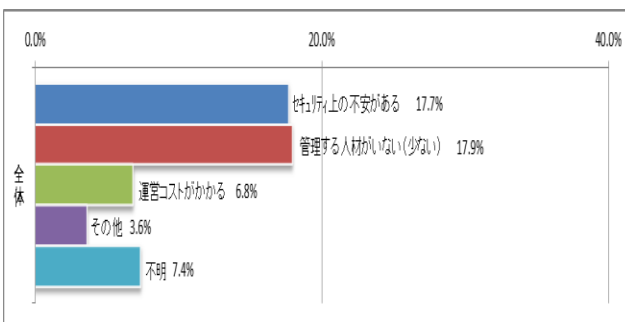
(利用媒体：受注)



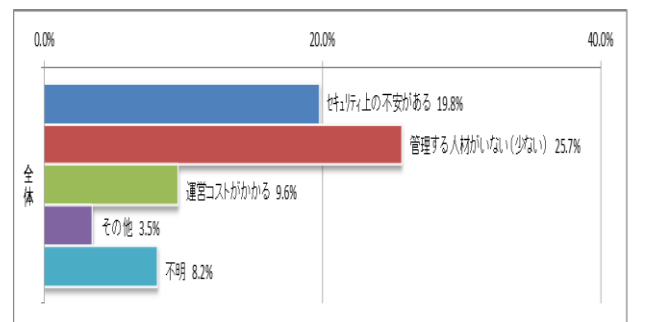
(仕入割合：発注)



(販売割合：受注)



(発注業務における課題)

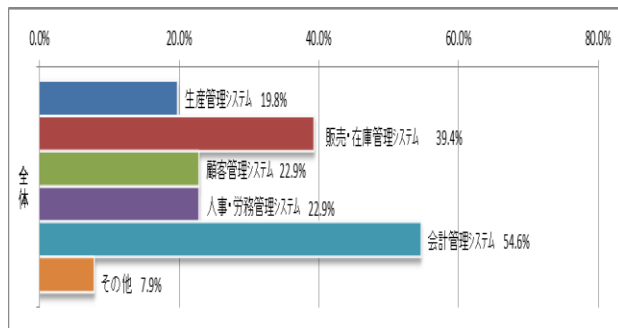


(受注業務における課題)

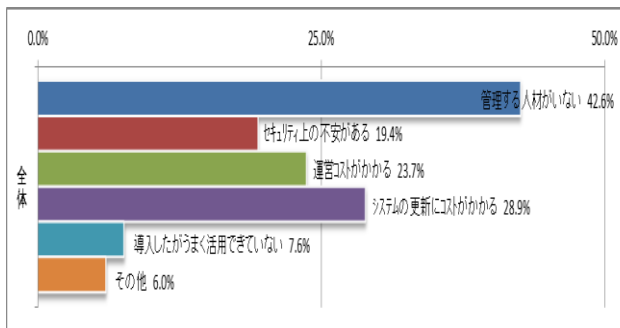
2 I Tを活用した経営効率化

利用しているシステムについては、「会計管理システム（54.6%）」次いで「販売・在庫管理システム（39.4%）」であり、「顧客管理システム（22.9%）」、「人事・労務管理システム（22.9%）」は同率の結果であった。

I T活用の課題については、「管理する人材がいない（少ない）（42.6%）」が最も多く、次いで「システムの更新にコストがかかる（28.9%）」、「運営コストがかかる（23.7%）」と続く。



（利用しているシステム）



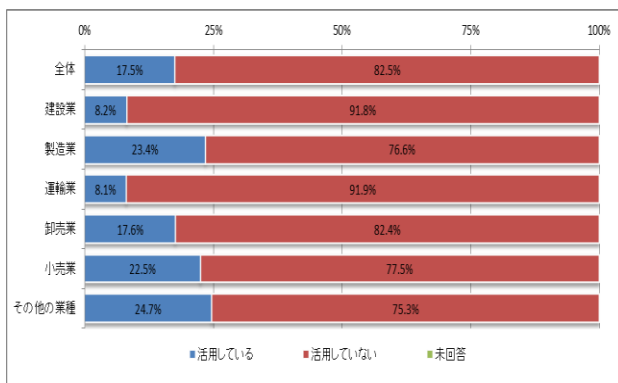
（I T活用の課題）

3 インターネットを活用した販売状況

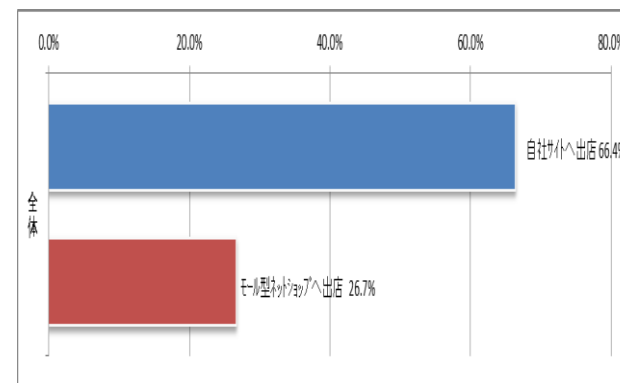
ネット販売の活用状況については、ネット販売を「活用している（17.5%）」のうち「自社サイトへ出店（66.4%）」がほとんどであった。

年間売上高に占めるインターネットを利用した売上の割合は、「5%未満（70.2%）」が大半であった。

課題については、「売上げに結びつかない（9.0%）」、「管理する人材がいない（8.0%）」、「運営コストがかかる（3.5%）」が多い結果となった。



（ネット販売の活用状況）



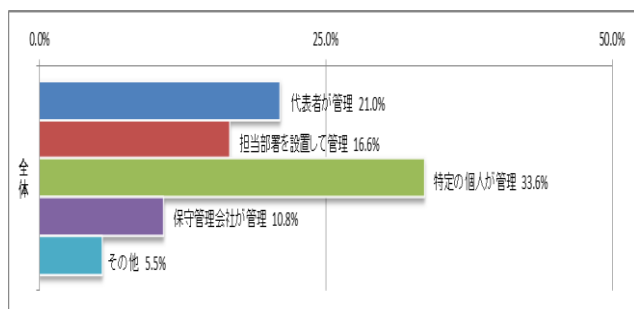
（売上高に占めるネット販売の割合）

4 インターネット・ホームページの管理状況

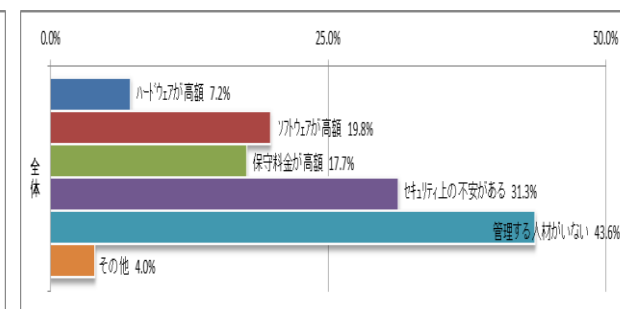
ネット環境の管理については「特定の個人が管理（33.6%）」が最も多く、次いで「代表者が管理（21.0%）」、「担当部署を設置して管理（16.6%）」となった。

課題については、「管理する人材がいない（43.6%）」が最も多く、次いで「セキュリティ上の不安がある（31.3%）」であった。

セキュリティ上の不安材料については、「ウイルス感染（92.7%）」が最も多かった。



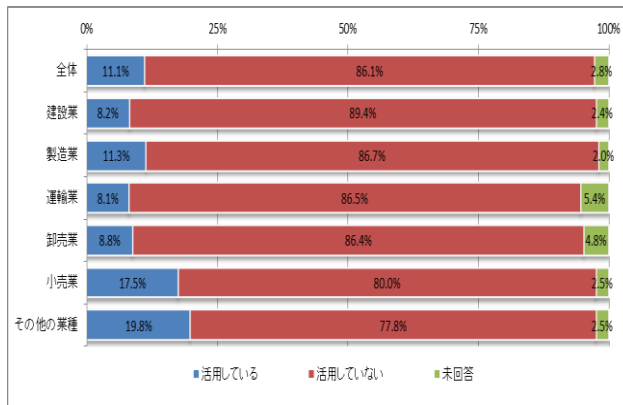
（ネット環境の管理状況）



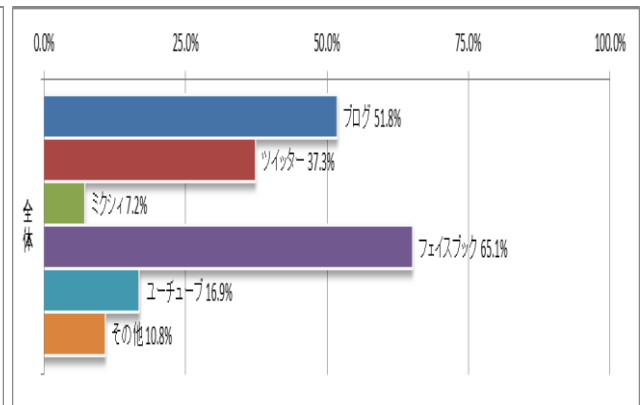
（管理における課題）

5 IT化の新たな動き（SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービス）について

SNSの活用については、「活用している（11.1%）」であり、そのうち活用媒体は「フェイスブック（65.1%）」、「ブログ（51.8%）」、「ツイッター（37.3%）」となった。



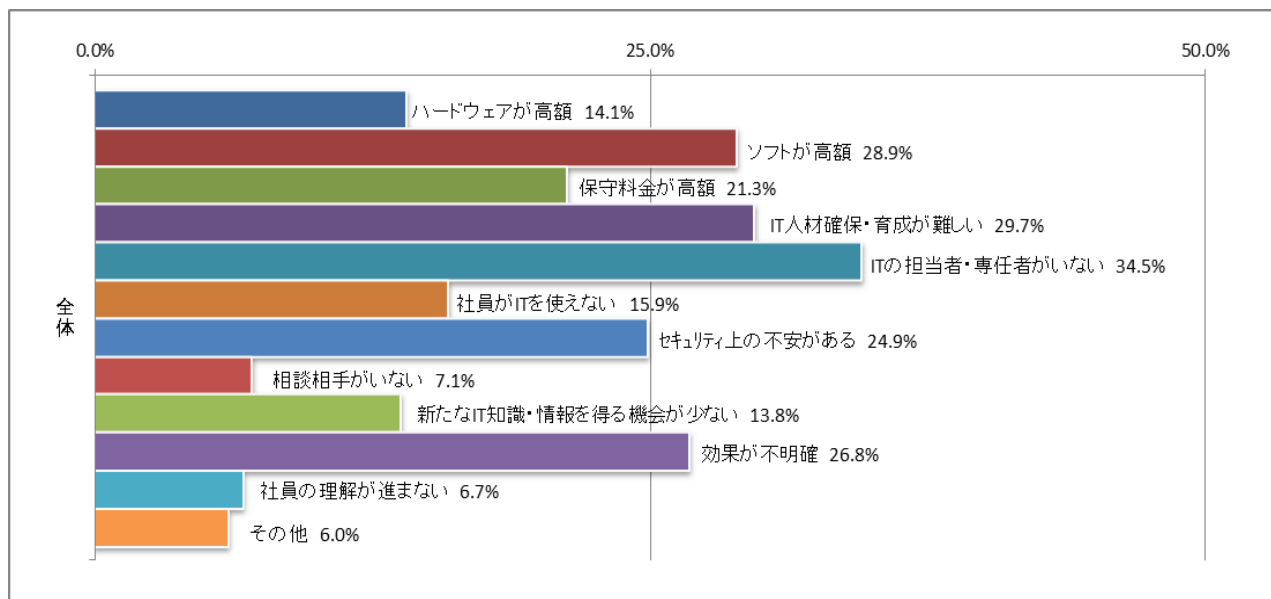
（SNSの活用状況）



（SNSの活用媒体）

6 ITの運用・利活用上の課題

ITの運用・利活用上の課題については、「ITの担当者・専任者がいない（34.5%）」、「IT人材確保・育成が難しい（29.7%）」、「ソフトが高額（28.9%）」となった。



（ITの運用・利活用上の課題）